



チャイニーズティーマスター 小田 純也による
世界 中国茶紀行

Vol. 8 台湾 阿里山のお茶風景



台湾は国土面積のおよそ 70% を高山や丘陵地が占めています。海から吹く潮風は高い山々によって急冷され、霧や雲が湧きたち、雨となって大地を潤します。湿度を好むお茶にとって素晴らしい環境といえるでしょう。



その中でも、海拔が高く、美味しいお茶が採れる阿里山では、こう配の急な斜面をやさしく包み込む霧によって幻想的な風景が見られます。

霧が去ると凛とした茶芽が姿を現します。日照量が制限されることによって、まるで紫外線ストレスから守られているかのようです。

阿里山の茶畑

台湾中部に位置する「阿里山」の茶産地までは、台湾高速鉄道で台北駅から嘉義（かぎ）駅へ。

嘉義駅からは公路 18 号線を阿里山国家森林遊楽区方面へ走ります。



阿里山とは一つの山の名称ではなく、2,000m 級の阿里山山脈の山々の総称で、広域に渡ってお茶が収穫されています。



山道を走り続け、海拔 1,200m 前後の付近にまで達すると、いよいよ青い空と茶畑の絶景が目の前に広がります。

海拔 1,200m から 1,600m の「石棹」という地域は阿里山のお茶づくりが盛んな地域です。



阿里山の祝山観日

阿里山は、お茶と並んで日の出が有名です。

お茶畑から少し足を伸ばした「祝山観日」では、ふわふわと浮かぶ雲海に昇る神秘的な日の出を一目見ようと、国内外からたくさんの観光客が訪れます。

山頂の阿里山国家森林遊
楽区内には宿泊施設がた
くさんあり、多くの人
がまだ暗いうちに祝山線
の列車に乗り、海拔
2.451m の展望台へと向



かいます。この展望台は、東アジア最高峰の玉山（海拔
3,952m）を見渡せることでも知られています。

阿里山には檜の原生林が深々と生い茂っており、お土産
売り場にはお茶とならんで檜の特産品が多く並んでいま
す。余談ですが、奈良市の「薬師寺」の金塔や西塔には
阿里山の巨木が建材として使われています。

春になると、1903年に植えられた日本の吉野桜と台湾
現生の桜が共存共栄する美観は人気のスポット。四季
折々の山岳風景や高山植物を鑑賞できる阿里山森林鉄道
が走ります。

茶郷、阿里山の石棹へ

阿里山で採れる烏龍茶は芳しい香りの良さで人気があります。

烏龍茶づくりは工程が非常に多いため、朝にお茶摘みをしてから夜通しの作業となります。



右の写真は、葉と葉に相互摩擦と衝撃を与えて、葉辺に微小な傷をつけることによって酸化を促進させると同時に、葉内に含まれる水分を蒸散させる工程の様子です。



熟練の技で「攪拌」→「静置」→「攪拌」を繰り返し、手間暇かけて、香りを引き出します。

阿里山のお茶は、緑茶のように爽やかな烏龍茶や、焙煎をした香ばしい烏龍茶、そして香り豊かな紅茶など、バラエティ豊かです。

特に「清香（ちんしゃん）」と喩えられる透き通った緑茶のような色合いの烏龍茶は、水出しで冷やして飲むと格別に美味。玉露のような風味は、緑茶を飲み慣れた日本人にとって受け入れやすい烏龍茶です。





阿里山のお茶を飲んで、霧にやさしく包み込まれた茶芽に宿る、山森の精を感じながら、森林浴気分を味わいたいです。

撮影：小田 純也

中国料理 香桃

レストランのご予約・お問い合わせ

TEL 06-6343-7020 (直通)

営業時間 10:00 a.m. ~ 7:00 p.m.

rc.osarz.restaurant.rsv@ritzcarlton.com

ザ・リッツ・カールトン大阪

〒530-0001 大阪市北区梅田 2 丁目 5 番 25 号